

氏 名	兪 秀娟
学位の種類	博士（学術）
学位記番号	第 6073 号
学位報告番号	甲第 3405 号
学位授与年月日	平成 26 年 9 月 30 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当者
学位論文名	ケアマネジメント業務における介護支援専門員の主観的時間認識に関する 実証的研究 (Empirical Research on Care Managers' Subjective Time Recognition Concerning Care Management Practice)
論文審査委員	主 査 教 授 岡田 進一 副 査 教 授 所 道彦 副 査 教 授 岩間 伸之

論 文 内 容 の 要 旨

本論文は、ケアマネジメント業務において、介護支援専門員がどのような時間認識を有しているのかという観点から統計的な分析を行い、介護支援専門員が感じている主観的な時間認識についての構造と特徴、その主観的な時間認識とそれに関連する要因との関係を明らかにし、最終的に介護支援専門員に対する業務改善の方法について提言を行った。本論文は、序章、第 1 章から第 5 章、終章で構成されている。序章においては、研究背景が述べられるとともに、本研究で重要となる主要概念に関する概念整理と定義づけを行った。第 1 章では、介護保険制度における介護支援専門員の業務に関する現状把握を行い、また、介護支援専門員が感じているケアマネジメント業務における主観的な時間認識とそれに関連する要因についての文献研究を行った。第 2 章では、主観的な時間認識の観点から、介護支援専門員がケアマネジメント業務において、どのような捉え方を行っているのかについての分析を行った。その結果、ケアマネジメント・プロセスと類似した因子構造が示された。その領域は、「利用者・家族の情報把握」「利用者・家族に対する支援目標の設定」「社会資源の調整と創出」「サービス担当者会議の実施と調整」の 4 つである。第 3 章では、第 2 章で得られた結果に基づき、個人特性と主観的な時間認識との関連性について、重回帰分析を用いて解析を行った結果、介護支援専門員が行っている給付管理と関連の深い「事務的マネジメント能力」という個人特性が有意な要因であることが明らかとなった。第 4 章では、介護支援専門員を取り巻く労働環境と主観的な時間認識との関連性を明らかにするために、重回帰分析を行った。分析の結果、「仕事に関する自由裁量権」「待遇の不適切さ」「連携の難しさ」の労働環境要因が、ケアマネジメント業務における主観的な時間認識に大きな影響を与えていることが明らかになった。第 5 章では、これまでの探索的な研究結果を踏まえて、ケアマネジメント業務における主観的な時間認識とその関連要因に関する総合的な分析を行った。分析の結果、これまでの分析と一致する結果が得られた。終章においては、研究結果のまとめとその結果に基づく提言を行った。本研究の結果に基づいて、財政的な考慮をしつつも、介護支援専門員に対する待遇改善、事務的能力を高める実務的研修の実施、介護支援専門員の自由裁量権を認める労働環境づくり、サービス担当者会議や地域ケア会議などを活用した多職種間連携の促進などを提言としてあげた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本申請論文では、ケアマネジメント業務における介護支援専門員の主観的な時間認識に関する構造と特色、その関連要因が明らかにされている。本論文で示された内容は、ケアマネジメントに関する研究領域において先駆的な内容となっており、介護支援専門員が感じる主観的な時間認識という斬新な概念を用いて、介護支援専門員が有している労働負担感の詳細な分析が行われている。このような研究内容は、従来の研究にはなかったものである。そして、本研究で得られた知見は、今後の介護支援専門員の実践の向上に役立つ具体的な実践的含意を示すものであった。これらの点で本論文は高く評価することができる。慎重に審査を行った結果、本審査委員会は、申請論文が博士（学術）の学位を授与するに値するものであると認めた。